

## I. 設計条件

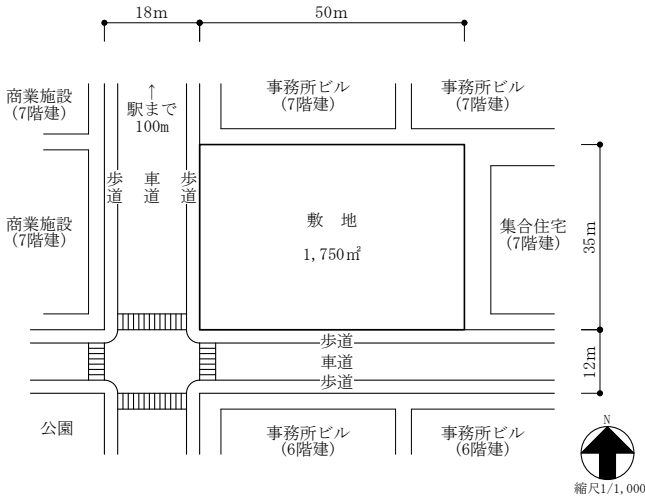
この課題は、ある地方都市の中心市街地において、貸事務所ビルを計画するものである。また、1階には展示用の貸スペースと貸会議室を計画し、高齢者、障害者等の利用に配慮した計画とする。

計画に当たっては、特に次のことが求められている。

- 施設利用者の利用目的に合わせて所要室を適切にゾーニングした計画とともに、各動線に配慮した計画とする。
- 利用目的、利用形態に配慮した意匠計画、設備計画とする。
- 建築物全体が、構造耐力上、安全であるように計画する。
- 建築物の環境負荷低減に配慮した計画とする。
- セキュリティに配慮した計画とする。
- レンタル比(床面積の合計に対する事務室面積の割合)が60%以上となるように計画する。

### 1. 敷地及び周辺条件

- 敷地の形状、接道条件、周辺状況等は、下図のとおりである。
  - 北側—事務所ビル(7階建)がある。
  - 東側—集合住宅(7階建)がある。
  - 南側—道路(幅員12m)を挟んで事務所ビル(6階建)がある。
  - 西側—道路(幅員18m)を挟んで商業施設(7階建)がある。
- 敷地は、平たんで、道路及び隣地との高低差はないものとする。また、歩道の切り開きは、1箇所当たり6mまでできるものとする。
- 敷地は、商業地域及び準防火地域に指定されている。また、建ぺい率の限度は90%(特定行政庁が指定した角地における加算を含む。)、容積率の限度は400%である。なお、日影についての特別な配慮はしなくてよい。
- 電気・ガス及び上下水道は、完備している。
- 地盤は良好であり、杭打ちの必要はない。
- 気候は温暖で、積雪についての特別な配慮はしなくてよい。



### 2. 建築物

- 耐力壁付ラーメン構造による鉄筋コンクリート造とする。
- 地上6階建ての1棟の建築物とし、床面積の合計は、6,500㎡以下とする。この課題の床面積の算定においては、ピロティ、塔屋、バルコニー、屋外階段、屋外テラス等は、床面積に算入しないものとする。
- 空気調和設備は空冷ヒートポンプパッケージ方式とする。
- 給水方式は増圧給水方式とする。
- 受変電設備は屋外キュービクルとする。
- エレベーターは乗用(13人乗り)を3基設ける。
- 事務室の使用者用として、機械式駐車場(垂直循環方式)20台分を設け、床面積の算定に当たっては、1台当たり15㎡として算入する。機械式駐車場の設置スペースとして、間口5.5m、奥行7.0m、高さ22mの有効スペースを確保する。また、消火設備は不活性ガス消火設備を使用する。
- 消火水槽は、地下ピットを利用する計画とする。

### 3. その他の施設等

- 地上に設ける駐車場は、平面駐車とし、車いす使用者用として1台分、貸展示室の搬出入用として1台分、その他サービス用として2台分を設ける。
- 機械式駐車場の出入口にターンテーブル(直径4.5m)を設ける。なお、車の回転スペースとして、直径7mの有効スペースを確保する。
- 駐輪場を事務室の使用者用として25台分を設ける。なお、1台当たりの駐輪スペースは0.5m×2m程度とする。
- 受変電設備(キュービクル)置場を地上に設ける。
- 基準階に空調用室外機置場を設ける。
- (1)～(5)の「その他の施設等」は、床面積に算入しないものとする。

## 4. 所要室

下表の室は、すべて計画する。

室名	床面積	設置階	特記事項
事務室	特記事項により算定	2～6階(基準階)	・各階5室の事務室を計画するものとし、各階1室利用にも対応可能な計画とする。 ・5室合計の床面積は700㎡以上とする。 ・フリーアクセスフロアーとし、OA専用のEPSを設ける。
リフレッシュルーム	適宜	2～6階(基準階)	
貸会議室	特記事項により算定	1階	・事務室の利用者だけでなく、近隣企業の利用も対象とした、時間貸しの会議スペースとする。 ・60人程度のセミナー形式の会議に利用できる会議室を2室(貸会議室A、貸会議室B)設け、貸会議室Bは可動間仕切りにより、2室に分割して利用できる。
貸展示室		1階	・無柱空間の展示スペース(約200㎡)を設ける。 ・絵画、彫刻、陶芸等、様々な展示に利用できる。 ・外部からも直接アプローチ出来るようにする。 ・搬出入用の駐車場から直接アプローチ出来る荷解・休憩室を設ける。 ・各種オーディオ等にも利用できる。 ・天井高は、3m以上とする。
管理室	適宜	1階	・貸会議室、貸展示室の貸し出しのための受付を兼ねる。
ラウンジ	適宜	1階	
便所	適宜	1～6階	・男子便所には小便器4台以上、大便器2台以上、洗面カウンターを設ける。 ・女子便所には大便器4台以上、洗面カウンターを設ける。 ・1階には多機能便所を設ける。

・上記の所要室については、特記事項等から床面積を算定し、計画する。  
・倉庫、ごみ置場(20㎡)、増圧ポンプ室、消火ポンプ室、消火設備室、その他上記以外に必要なと思われる所要室については適宜計画する。

## II. 要求図面等

設計製図答案用紙の定められた枠内(寸法線は枠外でもよい)に、黒鉛筆を用いて記入する。なお、「1. 要求図面」「2. 面積表」は答案用紙①に、「3. 計画の要点等」は答案用紙②に記入する。

### 1. 要求図面

下表により、所定の図面を作成し(フリーハンドでもよい)、必要な事項を記入する。

図面及び縮尺	特記事項
(1) 1階平面図兼配置図 1/200	①建築物の主要寸法(柱割り及び床面積の計算に必要な程度)を記入する。 ②室名等を記入する。 ③断面図の切断位置を図示する。 ④設備用シャフトの位置を図示し、PS(空調・給排水衛生設備用)、EPS(電気設備用)と記入する。 ⑤建築設備に必要な設備機器を屋外(最上階の屋上以外)に設置する場合は、その範囲を点線で図示し、名称を記入する。また、屋内に設置する場合は、室名を記入する。 ⑥耐力壁の部分にはEWと記入し、△印を図示する。なお、構造スリットが必要な場合はSと記入し、△印を図示する。 (例 $\triangle EW$ ) (例 $\square \begin{matrix} \triangle \\ S \end{matrix}$ ) ⑦1階平面図兼配置図には、次のものを図示する。 イ. 建築物の出入口 ロ. 地下ピットに設ける消火水槽部分の位置(点線で図示する) ハ. 駐車場(台数及び出入口を明示する) ニ. 駐輪場(台数を明示する) ホ. 通路・植栽等 ⑧貸会議室A、貸会議室B、貸展示室の床面積を記入する。 ⑨事務室については、各事務室及び合計の面積を記入し、次のものを図示する。 イ. 各事務室の出入口、OA専用のEPS ロ. 代表的な事務室の室内プラン(テーブル、いす、その他必要と思われる仕器を図示する) ハ. 事務室の表示(事務室A、事務室B、事務室C、事務室D、事務室E) ⑩基準階平面図は2階とし、直下階の屋根、ひさし等(ある場合のみ)となる部分を図示する。
(3) 基準階梁伏図 (2～6階) 1/200	①建物の主要な寸法を記入する。 ②2階柱壁、3階床梁の伏図とする。 ③主要部材について、柱(C1, C2～)、大梁(G1, G2～)、小梁(B1, B2～)と記入し、断面寸法を凡例を用いて記入する。但し、構造種別、断面寸法が変わる場合のみ、凡例符号を分けるものとし、断面形状(配筋等の納まり)の違いによるものは、この限りではない。 ④鉄筋コンクリート造の壁は黒く塗りつぶす。 ⑤耐力壁の部分にはEWと記入し、△印を図示する。なお、構造スリットが必要な場合はSと記入し、△印を図示する。 (例 $\triangle EW$ ) (例 $\square \begin{matrix} \triangle \\ S \end{matrix}$ )
(4) 断面図 1/200	①切断位置は、事務室及び貸展示室を含み、建築物の全体の立体構成(地上1～6階)及び屋根形状がわかる断面(南～北)とする。なお、水平方向、鉛直方向の省略は行わないものとする。 ②塔屋を除く建築物の高さ、階高、天井高、1階床高及び主要な室名を記入する。 ③基礎、梁及びスラブの断面を図示する。

### 2. 面積表

- 1～6階の床面積、機械式駐車場の床面積及びその合計を記入する。なお、各階の床面積、機械式駐車場の床面積については、その算定式も記入する。
- レンタル比を記入する。なお、その算定式も記入する。

### 3. 計画の要点等

答案用紙②(計画の要点等)に、建築計画、構造計画、設備計画に関して、問1～10に答えよ。